

北海道倶知安農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
Ⅰ グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	地域性を活かして、農業教育の質を向上させ、生徒の達成感を実感できる取り組みを充実させる。	コロナ禍が明け、地域の様々な団体との連携が活発となり、生徒の活動の場が広がった。	- 関係機関との連携のための校内体制の組織化や整備。 - 資格取得の指導体制充実。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	地域性を活かし、農業の国際化に対応したグローバルな教育活動を展開する。	農産物と畜産のJGAP継続認証の取組による、農業教育に係わる国際基準の取組。	- GAP継続認証に向けた農場整備の取組。 - 地域性をいかしつつ、国際的視野を養う農業教育の充実。	4
Ⅱ 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	地域の特色を生かした生産技術の学習を展開し、地域を支える人材育成を目指す。	スマート農業技術やようてい和牛ブランド化に向けた学習とその実証実験の実施。	- 関係機関や農家、企業と連携した最新生産技術の学習の充実。 - 情報発信の強化。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	農業の6次産業化の学習を展開し、地域産業を担う人材を育成する。	- 地元酒造メーカーや製菓店等との連携。 - 本校生産原材料や副産物を利用しやすい形に加工した製品の提供。	- 地域性を活かした販路の拡大。 - 情報発信の強化。 - 人材育成の充実。	5
Ⅲ 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	- 持続可能な農業生産への取り組みを充実させる。 - SDGsを意識した農業生産の取り組みを充実させる。	- GAP認証を活かした持続的な農場管理。 - 循環型農業を目指した農場管理の推進。	- SDGsを意識した農業生産の取組を継続。 - 有機農業の推進。	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	地域未利用資源の活用や地域の人材、自然の恵みを積極的に活用する。	地元企業と連携した、飼料開発や商品開発の取組の充実。	- 関係機関とのさらなる連携強化。 - 商品開発の取組を強化。	5
Ⅳ 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	- 農業の基礎基本を見直し、工程の見える化、自動化の基礎を学び、応用できる人材を育てる。 - 農業生産者と農業理解者が共に豊かな環境を構築できる、情報環境づくりを目指す。	IT技術の活用方法を考えるとともに、関係機関と連携した最新技術の見学等。	IT技術の効果的な活用と関係機関と連携した最新技術（スマート農業技術等）の魅力ある研修会の実施。	4
Ⅴ 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	地域防災に努め、危機管理に対する意識を高める。	GAP取得によるリスク管理の学習を通して、安全教育の理解を深めた。	- 施設設備の老朽化に伴うリスク管理の徹底。 - 安全教育のさらなる理解と実践。	4